

須磨学園中学校合格

和久 大陸人 くん

(所属 伊丹教室)

須磨学園中学校合格

大阪桐蔭中学校合格

岡山中学校合格

テーマ 受験勉強における後悔

「1勝2敗からの逆転」

「合格できてよかったなあ。」

須磨学園1回目の入試に失敗した僕の胸に突き刺さったのは、合格した人のお父さんが自分の子供に言っていた言葉でした。僕は悔しくて悲しくて言いようのない辛さを味わいました。4年の頃からさぼらず、こつこつきっちり勉強していればよかったと後悔しました。

僕は兄の通っている須磨学園に憧れているのに兄を見習わず4・5・6年の春まで3か月に1回ぐらゐの割合で浜の宿題をさぼっていました。

6年の夏前に先生に厳しく叱られ、母にも監視されるようになったので、夏休みはしんどくても手を抜かず、夏期講習、マスターコース、日曜志望校別特訓を一生懸命頑張りました。夏期講習は早朝特訓から参加したので、質問もでき集中して勉強ができたのがよかったです。

その成果が出て9・10月の公開学力テストでは須磨学園の偏差値にとどきましたが、それに安心してしまい気がゆるんだために、11月の公開学力テストは散々でした。僕は受験を甘く考え過ぎていたことに気がきました。そこから勉強スタイルを朝型に変え、毎朝5:30から ①計算(2種類) ②理科暗記分野 ③語句 ④苦手な国語読解1題 を必ずやると決め実行しました。①②は入試当日まで続けました。朝以外も浜学園の勉強は気をゆるめず全力でやりました。

直前特訓はもう死にもものぐるいでした。問題を解いて解いて解きまくりました。明石には講義がない社会は自習の時間や往復2時間の通塾の電車の中で1人で勉強しました。そのおかげで1月の初めには過去問は合格最低点がとれるようになっていました。教室の先生の「入試当日は1人で闘わなあかんねんど。」という言葉思い出し、僕に武器があるとしたら、それは誰よりも過去問を多くやったという自信だと思いました。土曜集中特講で。直前特訓の早朝で。家で。元旦も2日も過去問ばかりしていました。入試本番2日間、僕はこの武器を持って闘いました。1回目は手応えがなく不合格でしたが、あきらめずに闘った2回目3回目共に合格でした。うれし涙がこぼれてきました。須磨学園ではさぼらずにこつこつきっちり頑張ります。